

MEMOKATH® 044

再狭窄のリスクに挑む革新的ステント

前部・球部尿道狭窄に対する、臨床的に証明された可逆的治療法

3つの代表的な狭窄タイプに有効

外傷性尿道狭窄

- 事故、転倒、性感染症などによる狭窄に適応
- 安定した開存を実現し、排尿機能を改善

医原性狭窄 (内視鏡手術後・カテーテル使用後など)

- 医療行為に伴う術後性の尿道狭窄に適応
- ブジーやバルーンによる一過性の拡張に比べ、持続的な効果

尿道形成術後の再狭窄 (例：尿道下裂手術後)

- 再手術を避けたい成人・小児患者に
- 自己導尿やバルーン治療で効果が不十分だった症例にも適応

MEMOKATH® 044 が選ばれる理由

MRI対応、アレルギーリスクの少ないニッケルチタン素材

麻酔下で約30～45分の短時間挿入

温水で拡張・冷却で軟化除去できる完全に可逆的なシステム

Cleveland Clinic(米国)を含む国際共同研究で長期成績を実証済み

再狭窄率の低減により、再手術・再拡張の回避が可能

一部の良性狭窄症例では、
ステント抜去後も再狭窄が見られず
治癒が確認された報告あり

「繰り返す狭窄や、長期カテーテル管理を
回避したい患者様へ」

製品仕様・保険・承認情報

● 製品バリエーション（一部）

規格名	外径	拡張部	長さ (mm)	使用用途
044T	22Fr	33Fr	30,40,50,60,70	標準型・硬性鏡用
044TW	24Fr	42Fr	30,40,50	太型・硬性鏡用

044T は狭窄が強い患者様や細い尿道に適應。
044TW は広範な狭窄や再発例に適應。

● 挿入手技・フォローアップ

硬性膀胱鏡を使用して挿入（約 30～45 分）

挿入当日から排尿可能で、日常生活へ即復帰

温水で展開し、冷却で軟化除去できる可逆設計

フォローアップ：挿入 1 日後、1 ヶ月後、
その後は 6 ヶ月ごと推奨

● 保険・承認情報

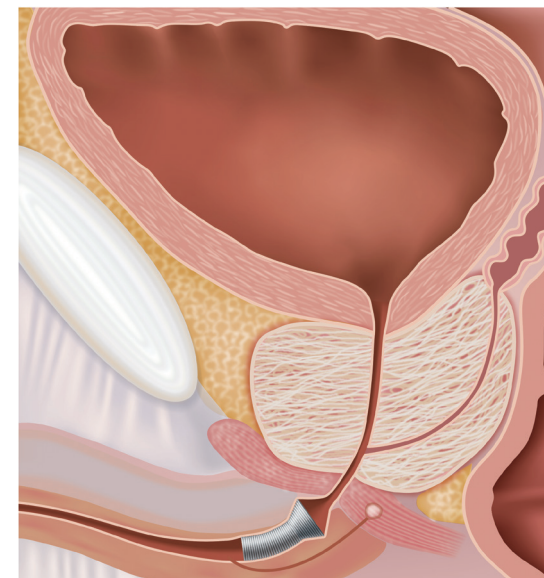
医療機器製造販売承認番号：22700BZX00339000

償還区分：Ⅱ 036 尿道ステント（1）一時留置（交換）型 ①長期留置型

診療報酬（手技料）：区分 K821 尿道狭窄内視鏡手術*

※ご確認ください

● 留置イメージ



狭窄部の拡張

外傷性、医源性、尿道下裂術後など、様々な起因により尿道内に生じた狭窄部に、メモカスを留置し尿道を拡張
尿道ブジーやバルーンによるダイレーションなど、その他の一過性の拡張法とは異なり、再狭窄リスクの軽減を図る

● お問い合わせ



株式会社 キースマック

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-2-8

TEL 03-3292-2506 FAX 03-3292-2507

E-Mail : info@kysmaq.co.jp

URL:<http://www.kysmaq.co.jp>